



# 高校生 冬期特別講習時間割

## 2010年度高1冬期講習日程 (英数国は講義6日・補講3日・試験1日)

時間	期間	12/14~17	12/19・20		時間	期間	12/23・12/25~28	時間	期間	1/4~6(補講)	1/7(総合試験)
17:00~18:20			高1数学 A・B		16:00~17:20			13:00~14:20		高1数学 A・S	全クラス (詳細は受験票で通知します)
18:40~20:00	高1数学 A・B	高1国語 A・B		17:40~19:00	高1数学S		14:30~15:50	高1国語 A・B			
20:10~21:30	高1国語 A・B	12/21 高1英語 A・B	12/22 高1数学S	19:10~20:30	高1英語 A・B		16:00~17:20	高1英語 A・B			
							17:40~19:00	高1数学 B			

## 2010年度高2冬期講習日程 (英数国は講義6日・補講3日・試験1日)

時間	期間	12/22	時間	期間	12/23・12/25~28		12/30	時間	期間	1/4~6(補講)	1/7(総合試験)
15:30~16:50			14:30~15:50		高2数学S		13:00~14:20	13:00~14:20			全クラス(詳細は受験票で通知します)
17:00~18:20	高2数学 A・B	高2数学 A・B	16:00~17:20	高2英語 A・B		14:30~15:50		14:30~15:50	高2数学 A・B・S		
18:40~20:00	高2国語 A・B	高2国語 A・B	17:40~19:00	高2国語 A・B		16:10~17:30	高2数学S	16:00~17:20	高2国語 A・B		
20:10~21:30	高2英語 A・B	高2英語 A・B	19:10~20:30	高2数学 A・B		17:40~19:00		17:40~19:00	高2英語 A・B		

## 2010年度高3冬期講習日程 8日間(4日+4日)、80分講義(英語と物理総合、化学総合は160分講義)

	英語Aクラス	英語Bクラス	英語Cクラス	数学Ⅱ-A	数学Ⅱ-B	数学Ⅲ-A
期間1	12/30・31、1/2・3	12/19~22 12/25~28	12/14~17	12/14~17	12/14~17	12/14~17
時間1	13:00~15:50	18:40~20:00 14:30~15:50	17:00~20:00	17:00~18:20	17:00~18:20	15:30~16:50
期間2	1/4~7	1/4~7	12/19~22 12/30・31、1/2・3	1/4~7	1/4~7	1/4~7
時間2	13:00~15:50	13:00~15:50	18:40~20:00 14:30~15:50	17:40~19:00	19:10~20:30	16:00~17:20

	数学Ⅲ-B	物理総合	物理I	化学総合	現代文	古典
期間1	12/14~17	12/19~22	12/14~17	12/25~28	12/19~22	12/19~22
時間1	15:30~16:50	14:00~16:50	20:10~21:30	17:40~20:30	17:00~18:20	15:30~16:50
期間2	12/19~22	12/30・31、1/2・3	1/4~7 (注)	12/30 12/31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3
時間2	15:30~16:50	9:20~12:10	10:50~12:10	16:50~19:40 16:10~19:00	16:10~17:30	17:40~19:00

(注；高2の物理I受講者は、1/7分を12/21 17:00~18:20に実施する)

	日本史-A	日本史-B	世界史-A	世界史-B
期間1	12/14~17	12/14~17	12/19~22	12/25~28
時間1	15:30~16:50	17:00~18:20	20:10~21:30	14:30~15:50
期間2	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	1/4~7	1/4~7
時間2	9:20~10:40	10:50~12:10	9:20~10:40	10:50~12:10

▲▽ 「負の感情」も「負」から「正」へ。 ▽▲

胡子俊英

人の気に障ることをして怒らせてばかりいる人、怒りを他人にぶつけることばかりする人、こうしたことは、「短気は損気」と言って、古来エネルギーの無駄と言われて避けられてきたことですが、近年、こうした性癖を持った人が増えているようです。キレ易い人が増えているという話もよく聞きます。なぜこうした無駄を敢えてするのでしょうか。

ADD（注意欠陥障害）の研究者が指摘しているのは、こうした「怒り」が、前前頭皮質の働きが活発でないADDの患者にとって、実は脳を活性化させるために有効な契機となり得るということです。そのために、ADD患者は、無意識のうちに自分の脳の働きを活性化させて気分をすっきりさせたいがために、繰り返し怒りのエネルギーを利用する傾向があり、結果的に周囲をいらつかせることが多くなるということです。

（『わかっているのにできない脳1』ダニエル・G・エイメン著）

考えてみれば、私たちもたまには怒りを爆発させることで、ストレスを発散させている傾向はあるかも知れません。これは従来の分析心理学の理論でも、意識と無意識のバランスを取るために、意識の態度があまりに怒りを無意識内に抑圧し過ぎると、ある日限界を越えて爆発するという説明もありましたが、怒りと共に分泌されるアドレナリンが、脳内の活性化を促すというこの説はなかなか示唆的です。

世の中には、可哀想なほど悲観的な人もいます。プロゴルファーが池越えのホールでも池は見ずにグリーンだけ意識するのに対して、素人は池ばかりを気にして結果的に池に落とすことが多いように、マイナスのイメージが行動に及ぼす悪影響については周知の事実となっているにも拘わらず、悲観的なイメージから逃れられない人がいます。

成功すると思っていて失敗すると、その落差によるダメージが大き過ぎるから、できる限り悲観的に考えようとするのだ、と自己分析する人もいます。

しかしこれなども、最悪の事態をとことん考えていくことで、極度の緊張状態に陥って、結果的に脳内ホルモンが分泌することで、脳を活性化させたり快感を覚えたりするということがあるのかも知れません。そうでもなければ、あれだけ気分を憂鬱にすることを繰り返し習慣的に行えるはずがありません。

マラソンとか登山といった、それ自体苦しいことが、なぜ人を惹きつけるのかも、同様に脳の仕組みから理解できます。身体を酷使することで初めて分泌される脳内物質のおかげで、人は快感を得る仕組みができています。

それならということで、脳内物質を制御しようという方向に現代医学は進んでいくのですが、高齢化が進む日本社会において、ただでさえ医療費が拡大しているのに、これ以上医療にお金をかけるのは得策とは言えません。解決のヒントは先のADDの研究者の説の中に既に示されています。

人が普通は嫌がる「怒り」や「緊張」や「ストレス」でさえ、実は捉え方によっては自分を鼓舞する契機にできるということです。但し、怒りに身を任せてしまえば制御が利かなくなりますから、ほどほどにして、エネルギーが湧いてきたら、本来の仕事に戻ればいいのです。『怒り』『緊張』は起爆剤としてだけ利用して、そのエネルギーを有効利用する。一見難しそうなことですが、実を言いますと、我々の仕事というのがまさにこの連続だったのではないかと、とはたと思い当たった次第なのです。

先日、生徒のお父さんと面談をしたのですが、実はそのお父さんも昔の教え子の一人だったのです。後で漏れ聞いたところでは、「胡子先生はどうして年を取らないんだろう。何か術でも使っているのだろうか」と仰っていたそうです。「術」というのは実は、この「怒りエネルギーからアドレナリンを抽出する術」だったのかも知れません。

## ▲▽ 高校入試情報 ▽▲

熊倉幹男

## 来春の都立入試もきびしくなりそうです

ここ数年都立高校の志望者が増えていますが、これは景気低迷により公立志向に傾いていることでもあります。都立改革の成果が表れてきていることも大きな要因のように思われます。実際、日比谷高校の東大合格者数36名、西高の国公立医学部の合格者数が開成を上回る、(都立)国立高校は同じ地区の名門私立桐朋高校の合格実績を大きく引き離すなど、実績の面で私立に引けをとらない状況が見られています。これは上位都立高ばかりではなく、中堅都立高にも言えます。

今春の都立入試では、中学3年生が前の年より4000人増に対して定員は1500人増にとどまったため、過去最高の倍率1.44倍となり一般入試の不合格者は12500人を超えるという、今までの都立高入試にはない厳しいものになりました。来春は中3が前の年より2900人減ですが、定員が1890人も減少することが確定しています。さらに海城高校が募集を停止しましたので、男子の上位125名が都立上位高に流れることも合わせますと、今春以上に厳しい入試になることが予想されます。

こういう状況ですから、中3の受験生諸君は日々の学習を精力的にこなして実力をつけること、あと1回の定期試験に真剣に臨むこと、そしておそれることなく現実に立ち向かう勇気を持つことが必要です。残された一日一日を計画的に有意義に過ごしていきましょう。また、中1、中2の諸君も次は自分の番だという意識をしっかりと持って日々の学習に励んでください。

## 埼玉県教育委員会の発表

埼玉県教育委員会は、県内の中学生が県外、おもに東京都の私立高校に進学しないようにいろいろ方策をとっています。東京都の私立高校の推薦入試に対して、中学校長が推薦書を書かないというのはその一例です。今年7月の県教委の発表によりますと、「埼玉県在住で埼玉県の私立高校に進学した場合、年間30万円の学費補助」を再来年から実施するということです。来年入学したとしても2年生からは補助が出るということですから、埼玉県の中学生は私立高校に進学がしやすくなったと言えます。

埼玉県の話ですから我々にはあまり関係のないことですが、ここからの話が大切です。「埼玉県の私立高校に進学した場合」に補助は出ますが、「東京都の私立高校に進学した場合」は補助は出ないわけです。ということは、埼玉県から多くの生徒が通っている板橋区、北区、豊島区、足立区の私立高校は生徒募集に大打撃を受けると思われます。したがって、これら私立高校は来春から門戸を広げざるを得ないので、すでに発表されている併願の基準等は下げてくる可能性が十分考えられます。

すでに危機感を抱いている私立高校は、「基準に足りなかったら、学校内の活動だけではなく町内会の活動などアピールできることがあったら何でも言って下さい。加点します。それでも1点か2点足りないようでしたらご相談下さい。」と説明会で言っていました。発表されている基準に足りないからと言ってあきらめず、入試相談で話をよく聞いてみましょう。

▲▽ 大学合格者の声 ▲▽

卒業生からのアドバイス

青柳力君（日本大学鶴ヶ丘高）

早稲田大学商学部／社会学部合格

明治大学商学部合格

学習院大学法学部合格

・早大はとにかく人が多い。それに応じて変な人も多いし、頭の良さそうな人も多い。そういう人たちに囲まれると、本来の自分の力が出せるか不安になる。しかし、不安な反面、小さな自信もあった。大学内に入ったとき、「あ、こいつらには勝てる」と心の中で思った。こういう気持ちを少しでも持てたのは勉強してきたという実感があつたからだと思う。結局最後は気持ちの問題だと思え、その気持ちを根っこから支えてくれるのも日々の勉強であることにも気付いた。

・入試に必要なこと 一、勉強 一、自信 一、受からなければ！と考えない 一、自分をいましめることと、ほめることを忘れない

江原柊三郎君（都立日比谷高）

東京大学文Ⅱ合格

慶應義塾大学法学部／経済学部合格

・「東大」と聞くと一番の難関校で、とても大きな壁のように去年の春頃は漠然と思っていました。けれどもいざ本格的に勉強してみると、恐るるに足らないものだと思えました。というのは、東大の問題は決して難易度は高くなく、誰にでも太刀打ちできる基本事項や塾で習ったことが、それと気付かれることなく出される良問の集合だからです。つまり、十分な指針とやる気さえあれば、東大を受けるチャンスは誰

にでもあります。とはいってもその道はやはり厳しいものでした。夏に受けた東大模試は散々な結果でした。英数国は平均点前後でしたが、社会の点数が圧倒的に悪かったです。やはり文系にとつての一番の力になるのは、この社会だと思えます。社会は勉強量に比例して、点数も着実に伸びていく教科です。一年生の頃から勉強してきた英数国に比べて、社会は伸びしろがたくさんあり、その強化が全体の得点アップにつながります。僕の場合、勉強量の少なくなつた英数国に多少の不安を感じましたが、それでも社会の方を優先して多くの時間を費やしました。その結果、社会はセンターや私立でも得点源となる武器となりました。ちなみに僕が一番辛かった時期は、行事が一段落ついて勉強に集中できるはずの、三年の秋頃でした。この頃は成績が振るわず、自分の勉強方針が間違っていたのかどうか疑念にも駆られました。自分が三年間勉強したことを信じて勉強に取り組んでいきました。それと模試の結果は当てにしないで大丈夫です。センター一カ月前に受けたプレセンター試験はひどいものでしたが、一カ月でどうにかになりました。合格は可能性で決まるものではなく、本番にどれだけの力を発揮できるかにかかります。志望校に向けて、自分の力を信じて頑張ってください。

竹下昇君（都立三田高）

明治大学情報コミュニケーション学部合格

成蹊大学法学部／経済学部合格

成城大学経済学部合格

明治学院大学法学部合格

・二〇一〇年度は、全体として出題傾向が変化していました。特にセンターで変化が見られたのは正直あせりました。準MARCHクラス（成蹊・成城・明治学院??）辺りは無理に難易度を上げている感がありま

す。特に明治学院では150字の英作文、成城では日本史の120字論述は日頃から訓練していないと、ぶつつけ本番では太刀打ちできない人が多いでしょう。自分は成蹊はE方式（文系は英・国）で受けたのですが、E方式の英語は長文がかなりボリュームがあるので、日頃から英字新聞や教科書を一気に通読などすることをオススメします。国語は現代文は標準からやや難（二〇一〇年は）で、必ず毎年最後に擬古文が出るので、古文や漢文の知識も必須となります。倍率も高く、また平均点も問題の難易度の割に70〜75前後（一般も高め）なので、もしかするとMARCHよりも高かったりすると思います（法政よりは上かと...）。明治は、今年度は英語がかなり易化していました（学校で解答したら自分でも90%以上取れていたの...）。来年度難化に要注意です。日本史は、教科書を隅から隅まで精読しないと、正誤問題に立ち向かえないでしょう。あと明治の場合（明学・成城も）、必ず人物名や事件名、年号を筆記で答えさせる問題があるので、一問一答形式の訓練も忘れずに（日本史B・一問一答完全版「東進ブックスがオススメ」）。

中田和伸君（筑波大学附属高）

一橋大学商学部合格

早稲田大学政治経済学部合格

慶應義塾大学商学部合格

・センター初日が終わっても絶対に自己採点はしない方がいい。結果が良くても悪くても二日目は悪い影響しかないと思う。

・私立は人がすくなくたくさんいたりして最初は緊張したので、早く来るのに越したことはないと思った。早稲田は普通の平らな長机だったけど、慶應は少ししやれて傾斜のある机だったので、そういう環境に慣れるためにも早く着いた方がいいと思う。